

第41回定時株主総会

2024年6月25日

JFE システムズ 株式会社

報告事項

- 1.第41期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 2.第41期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

目的事項

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役6名選任の件

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

第41回定時株主総会

2024年6月25日

JFE システムズ 株式会社

- **議決権を有する株主様の総数**
 - **3,639名**
- **議決権総数**
 - **156,504個**

会計監査人の監査報告
(39ページ～42ページをご覧ください)

監査役会の監査報告 (43ページ～44ページをご覧ください)

会計監査人および監査役会の
監査結果の報告を
終わります。

➤ 事業報告

➤ 連結計算書類

➤ 計算書類

2023年度（2023年4月～2024年3月）

事業の経過および成果

- ◆我が国経済は、物価上昇等が下押しする懸念があるものの、景気はゆるやかに回復
- ◆情報サービス業界においては、DX推進や働き方改革の取り組みに関連し、企業の情報システム投資は引き続き堅調に推移

- ◆ 中期経営計画(2022～2024年度)
2年目において以下の重要テーマの
推進を継続
 - ・ 製鉄所システムリフレッシュ本格化への対応
 - ・ ソリューションビジネスの拡大・深化
 - ・ 自社プロダクトの強みの最大化
 - ・ 新技術の蓄積・活用による顧客との連携
 - ・ クラウド・セキュリティ事業の強化・拡大
 - ・ JFEグループのDX実績をもとにしたDX新規
ビジネスの拡大

2023年度業績（連結：前期比）

- 全ての事業が順調に推移し、売上高、経常利益共に過去最高を更新。
- 売上高の増加に伴う利益増に加え、粗利改善の効果等により高い利益率を確保。

単位：百万円

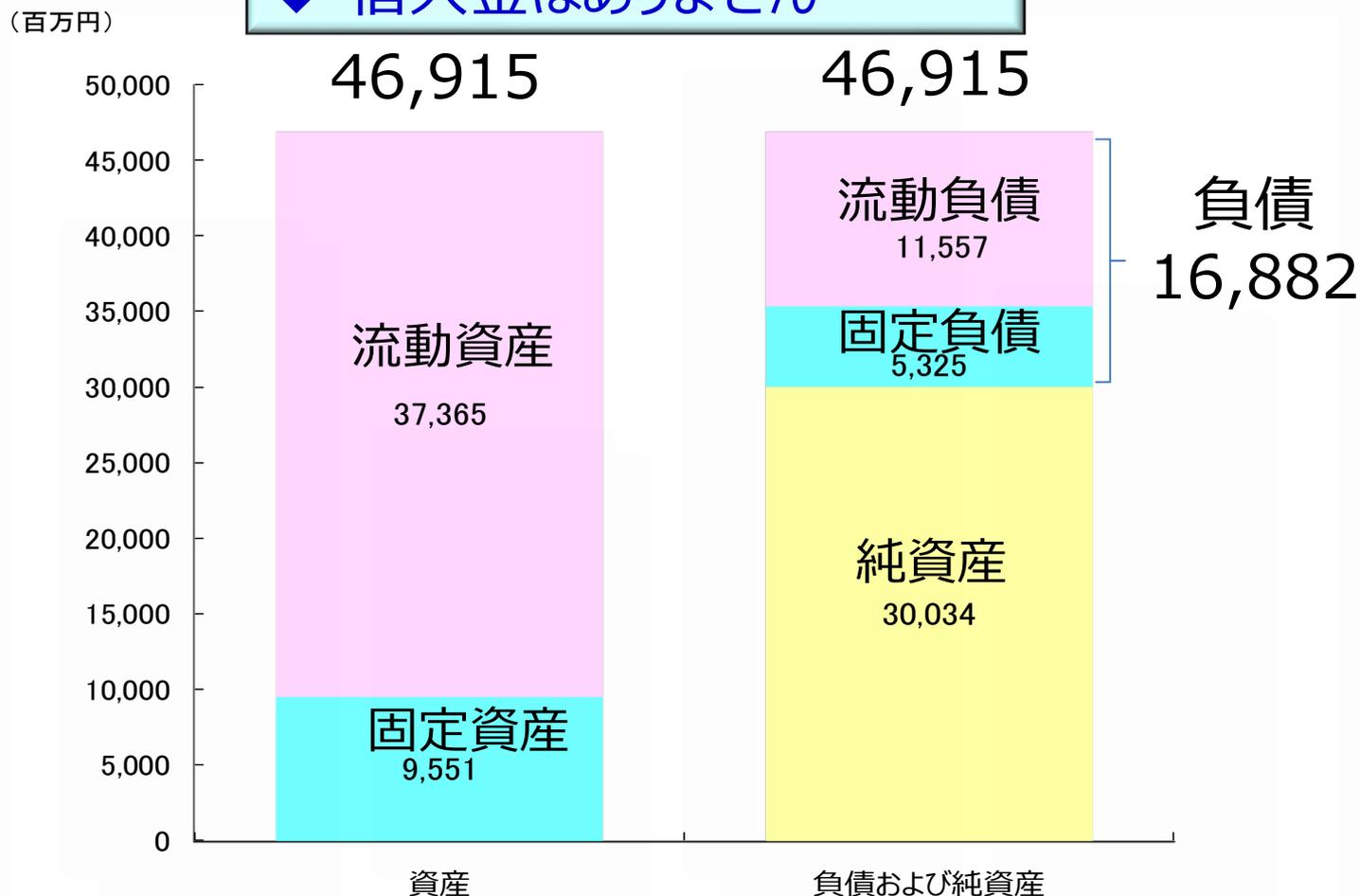
	2022年度 実績	2023年度 実績	増 減	
			金 額	率
売上高	56,472	62,033	+ 5,561	+ 9.9%
営業利益	6,248	7,402	+ 1,154	+ 18.5%
経常利益	6,282	7,452	+ 1,171	+ 18.6%
（経常利益率）	11.1%	12.0%	+ 0.9 ポイント	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,323	4,969	+ 645	+ 14.9%

2023年度末（2024年3月末） 連結貸借対照表

（33ページをご覧ください）

2023年度末（24年3月末） 連結貸借対照表の概要

- ◆ 自己資本比率 61.9%
- ◆ 借入金はありません



2023年度（2024年3月期） 連結損益計算書

（34ページをご覧ください）

2023年度業績（連結：前期比）

- 全ての事業が順調に推移し、売上高、経常利益共に過去最高を更新。
- 売上高の増加に伴う利益増に加え、粗利改善の効果等により高い利益率を確保。

単位：百万円

	2022年度 実績	2023年度 実績	増 減	
			金 額	率
売上高	56,472	62,033	+ 5,561	+ 9.9%
営業利益	6,248	7,402	+ 1,154	+ 18.5%
経常利益	6,282	7,452	+ 1,171	+ 18.6%
（経常利益率）	11.1%	12.0%	+ 0.9 ポイント	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,323	4,969	+ 645	+ 14.9%

2023年度計算書類

(36ページから38ページに記載のとおりです)

2024年度業績見通し

2024年度 業績見通し（連結：前期比）

■ 売上高は、前年度と同じく高い水準を維持する計画。

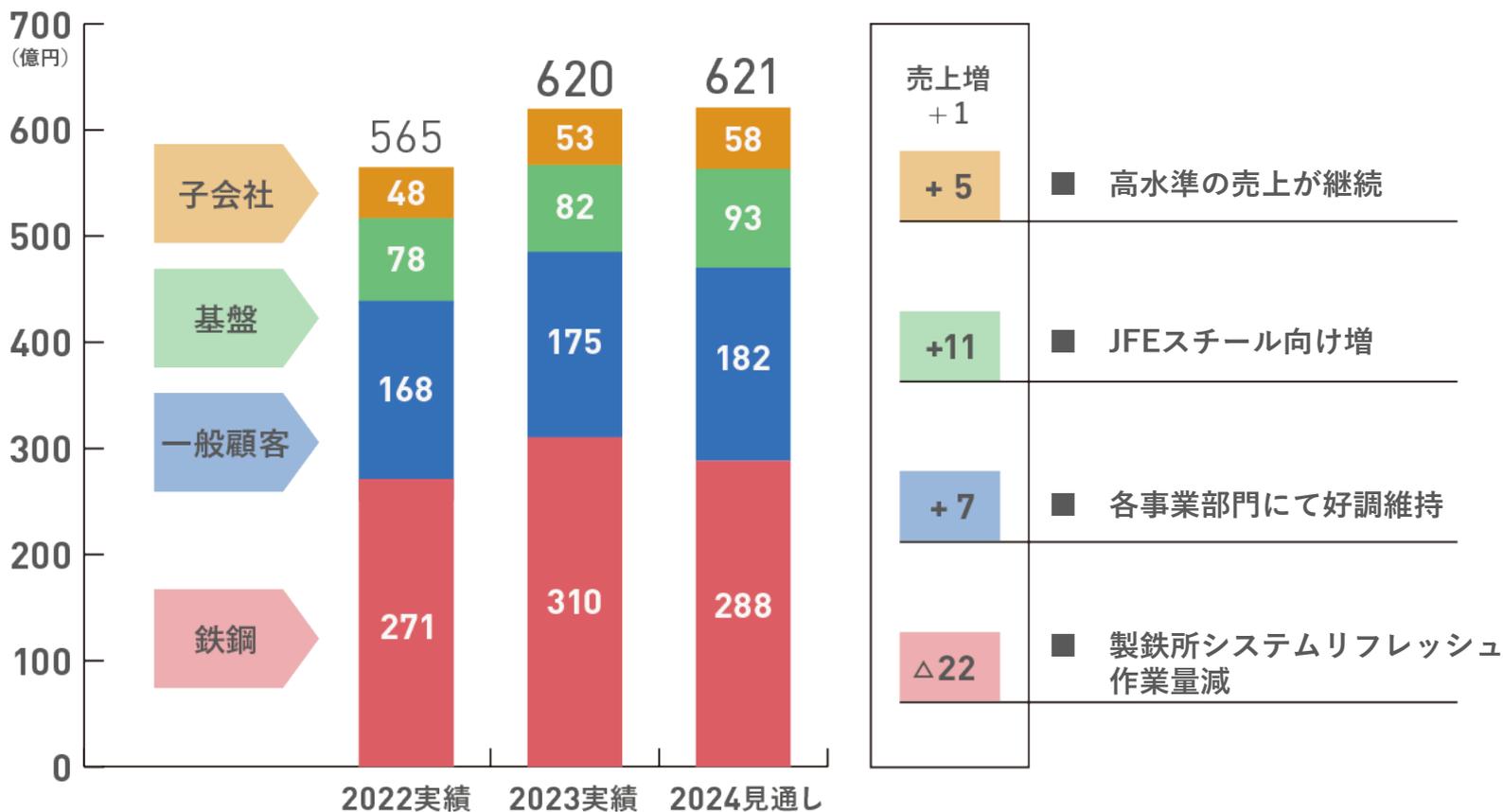
■ 利益面では、利益面では、社員の処遇改善に伴う労務費の増加、人材確保に向けた当社のブランディング費用を見込んでおり、前年度より減益の見通し。

単位：百万円

	2023年度 実績	2024年度 見通し	増 減		中期経営計画 2024年度目標
			金 額	率	
売上高	62,033	62,130	+ 97	+ 0.2%	57,000
営業利益	7,402	6,640	△ 762	△ 10.3%	-
経常利益	7,452	6,700	△ 752	△ 10.1%	6,600
(経常利益率)	12.0%	10.8%	△ 1.2ポイント		11.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,969	4,550	△ 419	△ 8.4%	4,370

2024年度 事業別売上高見通し（連結）

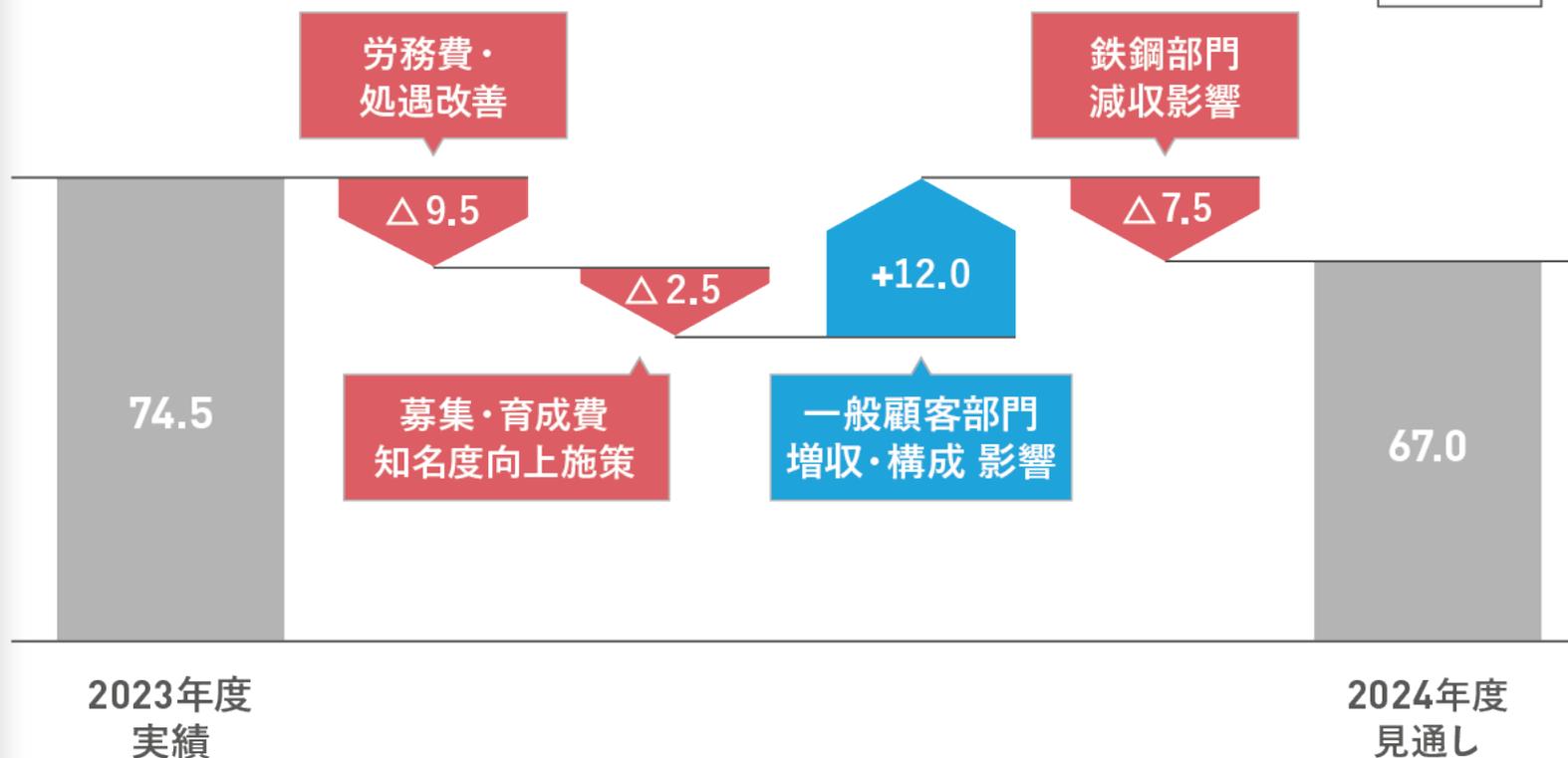
■鉄鋼部門は減収。一般顧客、基盤、子会社は高水準の売上高が継続。



2024年度 経常利益増減の要因（連結）

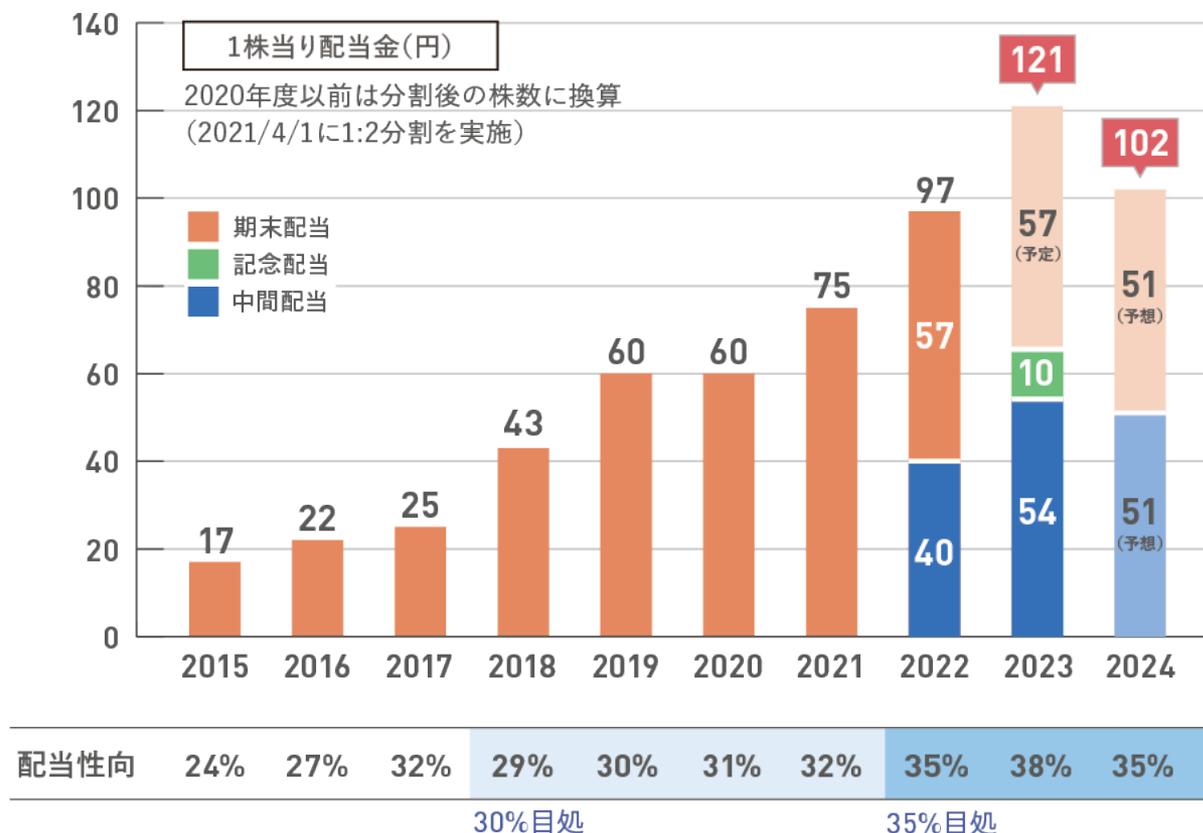
- 一般顧客部門の収益増が、労務費・処遇改善費用の増加を補う一方、鉄鋼部門の製鉄所システムリフレッシュの作業量減少により減益の見通し。

単位：億円



株主還元

- 23年度は、今中期計画の配当方針である「配当性向35%目途」に、記念配当を加え、121円/株へと増配予定。（前回公表値=118円）
- 24年度予想も配当方針に沿った配当額として102円/株を予想。



トピックス

DX・ソリューション事業強化に向けた機構改革

- ソリューション・プロダクト事業本部の更なる業容拡大を目指し、本部内の企画を担う事業企画推進部を新設。
- また、DX事業を本格化すべく、DX推進部・SCM開発部門を主体としたデジタル製造事業部を新設。

ソリューション・プロダクト事業本部

新設

事業企画推進部

- 複数の製品・サービスを組み合わせたクロスセルの企画やコンサルティング力の強化

新設

デジタル製造事業部

- 製造業における操業、品質、物流等のデータを利活用し、製造業のデジタル化を推進
- 大手製造業向けデジタル・マニュファクチュアリング事業、デジタル・サプライチェーン事業を担当

営業部

第1開発部

…母体；DX推進部

第2開発部

…母体；ソリューション事業部（SCM開発部門）

事業拡大に伴う本社増床

- 板橋区、成増オフィスで推進しているビジネスシステム事業の拡大に伴う増員および新卒採用の増員計画への対応。
- 拠点集約による業務効率・生産性向上を目的とした本社ビル（シーバンスS館） 賃借面積の増床。



ビジネスシステム
事業拡大



新卒採用の強化



研修環境の充実



本社地区への集約
増床・環境拡充
生産性向上



SAP AWARD OF EXCELLENCE 2024受賞

「SAP AWARD OF EXCELLENCE 2024」にて プロジェクト・アワード（優秀賞）を受賞

- JFEスチールグループ会社80社以上が共通利用するシステム(*)をオンプレミス(SAP S/4HANA®)からクラウドシステムへアップグレード。(RISE with SAP®)を活用
- この大規模なシステムリプレイスを「短納期(6カ月)」「ノントラブル」で完遂。
- JFEグループのDX戦略を支える基盤を、SAP社のクラウドサービスで構築したことが、高く評価されました。

*=経理システム、設備計画システム、研究開発システム



SAP AWARD OF EXCELLENCE 2024 授賞式



当社ソリューション事業部 プロジェクトメンバー

以上をもちまして
報告事項の説明を終わります。

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役 6 名選任の件

第4号議案 補欠監査役 1 名選任の件

第1号議案 剰余金処分の件

期末配当に関する事項

当社の利益配分の方針

配当性向35%程度を目安に、利益水準、再投資計画、
財政状態等を総合的に勘案して決定

当社普通株式 1株につき **金 57円**

6ページを
ご覧下さい

第2号議案 定款一部変更の件

- (1) 当社株式の流動性の向上および機動的な資本政策を可能とするために、発行可能株式総数を増加いたします。
- (2) 取締役会等の議事録の電子化に伴い、電子署名での議事録作成に対応いたします。

7ページをご覧ください

第3号議案 取締役6名選任の件

〈取締役候補者〉

大木 哲夫（おおき てつお）

國安 誠（くにやす まこと）

下田 純（しもだ じゅん）

笹井 一志（ささい ひとし）

竹田 年朗（たけだ としろう）

保々 雅世（ほぼ まさよ）

8-12ページを
ご覧下さい

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

＜補欠監査役候補者＞

永岡 秀一(ながおか しゅういち)

13ページを
ご覧下さい

決議事項

- | | | |
|-------|-------------|-----------|
| 第1号議案 | 剰余金処分の件 | (6ページ) |
| 第2号議案 | 定款一部変更の件 | (7ページ) |
| 第3号議案 | 取締役6名選任の件 | (8-12ページ) |
| 第4号議案 | 補欠監査役1名選任の件 | (13ページ) |

閉 会

**本日はご多用中のところ
ご出席いただきまして
誠にありがとうございました。**

JFE システムズ 株式会社